

株式会社AIRMAN

2025年4月より北越工業株式会社から社名が変更となりました。

本 社 ・ 工 場 新潟県新潟市下東生港3074 〒959-0293
TEL:0256-83-5571(代) FAX:0256-84-7567
東 京 本 社 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル 〒160-0023
●東 日 本 営 業 部 TEL:03-3348-8563 FAX:03-3348-7241
●品 販 部 TEL:03-3348-8565 FAX:03-3342-5966
●海 外 営 業 部 TEL:03-3348-7281 FAX:03-3348-7289
●販 売 促 進 部 TEL:03-3348-8589 FAX:03-3322-8550

●東 日 本 営 業 部
北 海 道 支 店 北海道札幌市中央区南一条東2-2-5 〒060-0051
TEL:011-222-1122 FAX:011-222-1129

東 北 支 店 宮城県仙台市宮城野区中野2-4-8 〒983-0013
仙 台 営 業 所 TEL:022-258-9321 FAX:022-258-8787

北 関 東 支 店 群馬県高崎市倉賀野町2465-15 〒370-1201
高 崎 営 業 所 TEL:027-347-5612 FAX:027-347-5613
新 潟 営 業 所 新潟県新潟市東区5-32 〒959-0117
TEL:0256-87-3707 FAX:0256-87-3705

東 京 支 店 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル 〒160-0023
東 京 営 業 所 TEL:03-3348-8563 FAX:03-3348-7241
千 葉 営 業 所 千葉県千葉市中央区港町12-6 〒260-0831
TEL:043-223-1092 FAX:043-223-1096
神 戸 営 業 所 兵庫県神戸市東灘区5-6-3 〒901-2131
TEL:098-879-3311 FAX:098-879-3335

西 関 東 支 店 神奈川県横浜市中央区南横本3-9-15 〒252-0253
神 奈 川 営 業 所 TEL:042-700-5020 FAX:042-700-5021
静 岡 営 業 所 静岡県静岡市駿河区東原6-25 〒422-8008
TEL:054-264-1512 FAX:054-264-1513

●西 日 本 営 業 部
中 部 支 店 愛知県一宮市広法寺5-10-2 〒481-0828
名古屋 営 業 所 TEL:0586-77-8951 FAX:0586-76-4192
金 沢 営 業 所 石川県金沢市長田2-28-14 〒920-0043
TEL:076-233-1152 FAX:076-233-1262

大 阪 支 店 大阪府摂津市新在家2-32-13 〒566-0055
大 阪 営 業 所 TEL:06-6348-3631 FAX:06-6348-1141
高 松 営 業 所 香川県高松市香日町1648-2 〒761-0101
TEL:087-841-6101 FAX:087-843-3574

中 国 支 店 広島県広島市中区江波南2-10-17 〒730-0835
広 島 営 業 所 TEL:082-292-1122 FAX:082-292-1130

九 州 支 店 福岡県大野城市御笠川6-1-2 〒816-0912
福 岡 営 業 所 TEL:092-504-1831 FAX:092-504-1839
南 九 州 営 業 所 鹿児島県姶良市加治木町反土1442-8 〒789-5231
TEL:0995-62-4166 FAX:0995-62-4018

●品 販 部
品 販 課 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル 〒160-0023
電 話 ・ プ ラ ン ト 課 TEL:03-3348-8565 FAX:03-3342-5966
技 術 課 TEL:03-3348-7244

ホームページ <https://www.airman.co.jp>

◆サービスセンター 株式会社 エーエスシー

本社・東京営業所 埼玉県八潮市南能谷242 〒340-0831
TEL:048-932-6401 FAX:048-932-6403

東 北 事 業 所 宮城県仙台市宮城野区中野2-4-8 〒983-0013
TEL:022-258-0191 FAX:022-258-0120

新 潟 事 業 所 新潟県新潟市東区5-32 〒959-0117
TEL:0256-87-3707 FAX:0256-77-8989
部 品 課 TEL:03-3348-8565 FAX:03-3342-5966
TEL:0256-98-0005 FAX:0256-98-0006

北 関 東 事 業 所 群馬県高崎市倉賀野町2465-15 〒370-1201
TEL:027-347-5625 FAX:027-347-5626

西 関 東 事 業 所 神奈川県横浜市中央区南横本3-9-15 〒252-0253
TEL:042-779-8666 FAX:042-779-8668

静 岡 駐 在 所 静岡県静岡市駿河区東原6-25 〒422-8008
TEL:054-264-1512 FAX:054-264-1513

小 池 事 業 所 千葉県木更津市幸栄1-1 若葉製鋼所ビジネスセンター311 〒292-0835
TEL:0438-40-5588 FAX:0438-38-0789

名古屋事業所 愛知県一宮市広法寺5-10-2 〒481-0828
TEL:0586-75-5521 FAX:0586-75-5520

金 沢 事 業 所 石川県金沢市長田2-28-14 〒920-0043
TEL:076-260-1071 FAX:076-260-1072

大 阪 事 業 所 大阪府摂津市新在家2-32-13 〒566-0055
TEL:06-6348-3641 FAX:06-6348-3651
部 品 課 TEL:06-6348-3670 FAX:06-6348-3671

高 松 事 業 所 香川県高松市香日町1648-2 〒761-0101
TEL:087-844-8660 FAX:087-841-5761

広 島 事 業 所 広島県広島市中区江波南2-10-17 〒730-0835
TEL:082-297-3500 FAX:082-294-8320

九 州 事 業 所 福岡県大野城市御笠川6-1-2 〒816-0912
TEL:092-580-8891 FAX:092-504-1055

ホームページ <https://www.a-s-c.net>

ISO9001、ISO14001の認証工場で生産しています。



ISO9001:JQA-0581

■本社工場 / 関連事業所
■イーエシステム(株) ■(株)ファンドリー



ISO14001:JQA-EM4670

■本社工場

今後も、安心してご使用いただける高品質の製品をお届けいたします。

エンジンコンプレッサ

PDSシリーズ

AIRMAN®

エンジンコンプレッサ PDS シリーズ

Portable Diesel Screw



⚠ 安全に関するご注意

- 取扱説明書にしたがって、安全にご使用下さい。
- 故障や事故を未然に防止するために、日常点検・定期点検を必ず行なってください。

- このカタログは2025年3月現在のものです。仕様及び外観等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 印刷の関係上、塗装色など実際の製品と異なることがありますのでご了承ください。

お客様技術相談室

 **0120-07-6364**

AIRMAN は(株)AIRMANの登録商標です。

販売店



PDS100LC



PDSF550S

新しい時代への挑戦

創業以来コンプレッサを生産・販売して80年

新世代のエアエンド ASロータを搭載して生まれ変わったエンジンコンプレッサ
パイオニアメーカーの底力を体感してください

Engine Compressor **PDS Series**



機種 ラインナップ MODEL LINEUP

豊富なモデル群の中から、
用途にマッチした最適な
コンプレッサを選定いた
できます。

		モデル[空気量 (CFM)]										
吐出空気質	ボンネット形状	65	80	100	130	140	185	265	390	400	670	750
標準	ボックス											
	リークガード											
アフタ クーラ	トレーラ											
	ボックス											
ドライ エア	リークガード											
	トレーラ											

標準圧仕様

吐出圧力 Pressure

標準圧 PDS

AIRMANエンジンコンプレッサの基本形。
高い耐久性と優れた燃費性能を誇ります。



高圧 PDSF/G/H/J/K

ハイパワーのエア・エナジを供給する、
AIRMANの高圧タイプです。



可変圧 PDS-VR/DP

標準圧から高圧まで1台で何役もこなし、ニー
ズに対応するAIRMANの可変圧タイプです。



吐出空気質 Air Quality

標準 PDS

AIRMANエンジンコンプレッサの基本形。
油分を分離し環境へ配慮しております。



アフタクーラ仕様 PDS-C

圧縮空気の水分を冷却して除去。吐出空
気には微量の水分しか含まれません。



ドライエア仕様 PDS-D

湿度の低い、ドライなエアを供給します。雨
天時などの湿度が高い日も安心です。



ボンネット形状 Bonnet

ボックスタイプ

段積みが可能で保管スペースが少なくて
済むボックスタイプです。



リークガードタイプ

フレーム上に燃料やオイルが漏れた際、外
部への流出を可能な限り防止します。



トレーラタイプ

大型のタイヤが付いているので、現場内
の移動に便利です。



		モデル[空気量 (CFM)]											
吐出空気質	ボンネット形状	F100	F140	F315	F550	G290	G750	G900	G1400	J850	J1100	J1550	K930 K1250
標準	ボックス												
	リークガード												
高圧・可 変圧仕様	トレーラ												
	ボックス												
アフタクーラ	リークガード												
	トレーラ												
ドライエア	リークガード												
	トレーラ												



01

高効率歯型で 大きな空気量

ASロータ(高効率歯型)の採用でクラストップレベルの空気量を効率よく作り出します。

04

大きいサイズの タイヤを採用

場内の移動が容易にできるようにベストなタイヤサイズを選定しています。



05

耐久性に優れた コンプレッサオイル

エアマン独自の研究によって生み出された高性能コンプレッサオイルを使用しています。

エアマンのPDSシリーズ

建設現場で最もポピュラーに使用されているコンプレッサ、それがエアマンのPDSシリーズです。小型から超大型までの豊富なモデル群。用途に合った最適なコンプレッサを選定いただけます。「低騒音指定機」の認定を受けた静かな防音構造、簡単な運転操作、モニタ表示と非常停止装置など数々の特長に加え、なによりもすでに実証済みの高い耐久性や低燃費性能を実現した高性能コンプレッサです。

06 環境に配慮したオイルフェンス一体型「リークガード」

環境に配慮したオイルフェンス一体型をラインナップ。(一部機種)

万一、燃料やオイル、冷却水などがフレーム上に漏れた場合には、オイルフェンス機能により外部への流出を防止します。※すべての油漏れを保证するものではありません

アフタクルード回収用のタンクを内蔵し、ドレンを機外に排出しません。タンクは簡単に取り外しができ、廃棄作業が容易に行えます。 ※アフタクルード仕様のみ

「リークガード」対象機種

P4掲載	
PDS65L	アフタクルード仕様 PDS65LC
PDS80L	アフタクルード仕様 PDS80LC
PDS100L	アフタクルード仕様 PDS100LC

P5掲載	
PDS140L	アフタクルード仕様 PDS140LC
PDS185S	アフタクルード仕様 PDS185SC
PDS400L	アフタクルード仕様 PDS400LC

ドライエア仕様 PDS400LD	
---------------------	--

P6掲載	
可変圧仕様 PDSG290LVR	アフタクルード/可変圧仕様 PDSG290LVRC

ドライエア/可変圧仕様 PDSG290LVRD	
----------------------------	--

可変圧仕様 PDSK1400LDP	可変圧仕様 PDSK1400LVR
----------------------	----------------------

可変圧仕様 PDSK930LDP	可変圧仕様 PDSK1250LDP
---------------------	----------------------

02

見やすい操作パネル

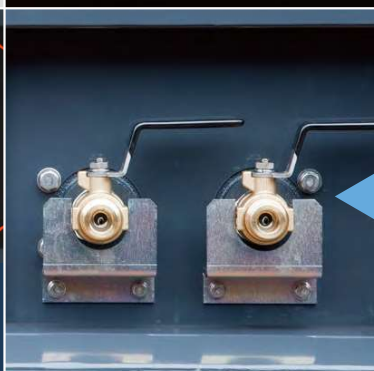
操作パネルにデジタルモニタやタッチパネルを採用し、操作性と視認性に優れています。圧力や燃料残量など稼働中の状況も把握しやすいレイアウトとなっております。



03

サービスバルブの まわり止めを標準装備

毎日のエア工具の着脱で緩みやすいサービスバルブにまわり止めを標準装備しました。



07

様々なニーズに 対応する可変圧

エアマン独自の制御方式で圧力を変更可能です。 ※高圧機のみ



08

オプションも充実

軽くて丈夫な特殊樹脂性のエアホースやホースドラム、移動に便利なキャスタなどオプション品が充実しています。



タッチパネル

※画面はハズミ合成です。

タッチパネル採用機種
PDS400L/LC/LD、PDSG290LVR/C/D、
PDSK930LDP、PDSK1250LDP

標準 PDSシリーズ



PDS80S



PDS100S

		PDS80S-5C5 ボックス	PDS100S-5C5 ボックス
コンプレッサ	形式	スクリュ回転型1段圧縮油冷式	
	空気量	m ³ /min 2.3	2.8
	吐出圧力	MPa 0.7	
	潤滑油量	L 8.0	9.0
	空気槽容量	m ³ 0.014	0.017
サービスエアバルブ・数量	サービスエアバルブ・数量	20A 2ヶ	
	名称	クボタ D902-K3A	クボタ D1105-K3B
ディーゼルエンジン	形式	水冷4サイクル 渦流室式	
	定格出力	kW/min ⁻¹ 17.0/3,600	19.2/3,400
	エンジンオイル量	L 3.7	4.5
	燃料タンク容量	L 25	28
	燃料消費量 (70%負荷時)	L/Hr 3.4	4.2
寸法・質量等	冷却水量	L 3.7	4.1
	バッテリー	55B24R 1ヶ	85D26R 1ヶ
	全長×全幅×全高	mm 1,375×770×865	1,460×770×900
	乾燥(運転整備)質量	kg 400 (435)	460 (500)
	騒音指定	超	
	排ガス指定	第3次	

※全長は把手を含まない数値です。 ※外観および仕様は予告なく変更することがあります。



PDS390S



PDS390S

		PDS390S-5C1 ボックス	PDS390S-4C1 トレーラ
コンプレッサ	形式	スクリュ回転型1段圧縮油冷式	
	空気量	m ³ /min 11.0	11.0
	吐出圧力	MPa 0.69	
	潤滑油量	L 50	50
	空気槽容量	m ³ 0.098	0.098
サービスエアバルブ・数量	サービスエアバルブ・数量	50A 1ヶ 20A 4ヶ	
	名称	いすゞ CI-4JJ1X	
ディーゼルエンジン	形式	水冷4サイクル 直接噴射式 過給機給気冷却器付	
	定格出力	kW/min ⁻¹ 84.4/2,200	
	エンジンオイル量	L 15	15
	燃料タンク容量	L 180	180
	燃料消費量 (70%負荷時)	L/Hr 15.5	15.5
寸法・質量等	冷却水量	L 11	11
	バッテリー	85D26R 2ヶ	
	全長×全幅×全高	mm 2,680×1,300×1,400	3,065×1,405×1,870
	乾燥(運転整備)質量	kg 1,660 (1,870)	1,965 (2,175)
	タイヤサイズ(旧規格)・数量	—	
	騒音指定	超	
	排ガス指定	第3次	

※トレーラタイプの全長はドロワーを立てた状態の数値です。 ※外観および仕様は予告なく変更することがあります。



PDS130S



PDS185S



PDS265S

		PDS130S-5C3 ボックス	PDS185S-5C5 ボックス	PDS265S-5C3 ボックス
コンプレッサ	形式	スクリュ回転型1段圧縮油冷式		
	空気量	m ³ /min 3.7	5.2	7.5
	吐出圧力	MPa 0.69	0.7	0.69
	潤滑油量	L 15.0		30
	空気槽容量	m ³ 0.020		0.069
サービスエアバルブ・数量	サービスエアバルブ・数量	20A 2ヶ	20A 3ヶ	50A (CAP) 1ヶ 20A 4ヶ
	名称	ヤンマー 3TNV88-BDHK	ヤンマー 4TNV88-BDXHKS	ヤンマー KDP-4TNV98T
ディーゼルエンジン	形式	水冷4サイクル 直接噴射式		
	定格出力	kW/min ⁻¹ 26.9/3,000	34.9/3,000	61.2/2,500
	エンジンオイル量	L 6.7	7.4	11
	燃料タンク容量	L 70	90	115
	燃料消費量 (70%負荷時)	L/Hr 5.2	6.3	10.0
寸法・質量等	冷却水量	L 4.5	5.8	10
	バッテリー	85D26R 1ヶ		
	全長×全幅×全高	mm 1,580×890×1,080	1,850×950×1,080	2,050×1,200×1,250
	乾燥(運転整備)質量	kg 640 (720)	755 (850)	1,150 (1,290)
	騒音指定	超		
	排ガス指定	第3次		

※全長は把手を含まない数値です。 ※トレーラタイプの全長はドロワーを立てた状態の数値です。 ※外観および仕様は予告なく変更することがあります。



PDS670S



PDS750S

		PDS670S-4C5 トレーラ	PDS750S-4B1 トレーラ
コンプレッサ	形式	スクリュ回転型1段圧縮油冷式	
	空気量	m ³ /min 19.0	21.2
	吐出圧力	MPa 0.7	
	潤滑油量	L 97	80
	空気槽容量	m ³ 0.188	0.189
サービスエアバルブ・数量	サービスエアバルブ・数量	50A 1ヶ 20A 2ヶ エアチャック10A 1ヶ	50A 1ヶ 20A 2ヶ 10A 1ヶ
	名称	いすゞ AI-4HK1X	
ディーゼルエンジン	形式	水冷4サイクル 直接噴射式 過給機給気冷却器付	
	定格出力	kW/min ⁻¹ 118.6/2,000	144.5/2,100
	エンジンオイル量	L 20.5	23
	燃料タンク容量	L 310	
	燃料消費量 (70%負荷時)	L/Hr 20.5	27.0
寸法・質量等	冷却水量	L 26	29
	バッテリー	130F51 2ヶ	
	全長×全幅×全高	mm 3,690×1,680×2,145	3,650×1,685×2,095
	乾燥(運転整備)質量	kg 2,940 (3,310)	3,020 (3,370)
	タイヤサイズ(旧規格)・数量	175/80R13 97/95N (175R13 8PR)・4輪	
	騒音指定	低	
	排ガス指定	第3次	

※トレーラタイプの全長はドロワーを立てた状態の数値です。 ※外観および仕様は予告なく変更することがあります。

周辺機器

エアホース・ホース金具

加締めタイプで安全なホースセットをご用意しております。



現場の声から安全性・作業性を徹底追求。ホース、金具の耐久性をより向上

■ホースセット品の比較

	レン太郎ホースセット	エアマンホースセット
ホース	ポリエステル糸 特殊塩ビ耐油配合 特殊樹脂	ポリエステル糸 特殊塩ビ耐油配合
金具	ロータリーカップリング採用 ダブル加締め ※エアマンホース単品(AH-19)はロータリーカップリングが取り付けられます	ロータリー機能なし ダブル加締め

レン太郎ホースセット

外観	呼称 部品番号 90001-	ホースサイズ 内径×外径 mm	定尺 m	定尺質量 kg/巻	使用圧力 MPa	着色	セット内容	梱包単位
金具セット品	RH-1920HS-C (01084)		20	9			両端ロータリー カップリング (スパット無)	20m×1本
カセットタイプ付	RH-1930 HS-C (01086)	19.0×27.5	30	12	0～1.03	イエロー	ホース 10本ストライプ入 管理チューブ	30m×1本
	RH-1950 HS-C (01087)		50	20			管理チューブ 両端付 m数表示	50m×1本
ホース単品	RH-19 (R1900)	19.0×27.5	20.30 50.100	38 (100m)	0～1.03	イエロー		20・30・50m×1本 100m×1本フィルム巻

使用温度範囲：-10℃～80℃

エアマンホースセット

外観	呼称 部品番号 90001-	ホースサイズ 内径×外径 mm	定尺 m	定尺質量 kg/巻	使用圧力 MPa	着色	セット内容	梱包単位
金具セット品	AH-1920 HS-C (01079)		20	8			両端カップリング (スパット無)	20m×1本
カセットタイプ付	AH-1930 HS-C (01081)	19.0×27.5	30	12	0～1.03	スカイブルー	ホース 10本ストライプ入 管理チューブ	30m×1本
	AH-1950 HS-C (01082)		50	20			管理チューブ 両端付 m数表示	50m×1本
ホース単品	AH-13 (13000)	12.7×21.5	100	27		スカイブルー		100m×1本 フィルム巻
	AH-19 (19000)	19.0×27.5	20.30 50.100	39 (100m)	0～1.03			20・30・50m×1本 100m×1本フィルム巻
	AH-25 (25000)	25.0×34.5	100	52	0～1.0	スカイブルー		100m×1本 フィルム巻

使用温度範囲：-10℃～80℃

専用金具部品

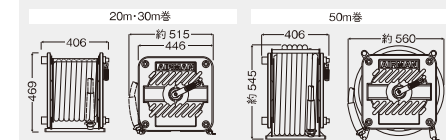
品名	ホースカップリング				ホースバンド			ダブルスパット	スパット
外観									
適用ホース内径 (mm) (部品番号 90001-)	13 (00682)	19 (00683)	25 (00684)	19 (00213)	13 (00674)	19 (00676)	25 (00649)	13・19 (30004)	13・19 (30006)
梱包単位 (個)	20				50			20	50

ホースドラム

ドラム搭載例

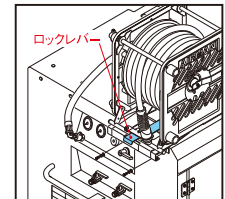


寸法図 (単位: mm)



⚠ 安全上のご注意

- ロックレバーをロックしないまま、作業や移動すると転倒する恐れがあります。
- スイング中ドラムを離さないください。ドラムやコンプレッサの故障につながる恐れがあります。
- コンプレッサを吊り上げるときは、ドラムを上部にセットした状態で吊り上げてください。コンプレッサが5度以上に傾く恐れがあります。
- ドラムをロックしないまま、運転しないでください。走行中にドラムが落下し事故になる場合があります。



適合ドラム選定表セット規格

タイプ	装着可能コンプレッサ機種	ドラム 通数	ホース長さ (m)	ドラム型式 (部品番号 90001-)	セット内容	ホースサイズ 内径×外径 mm	使用圧力 MPa	セット質量 kg	梱包個数 個口
スイング式	・スイング式はドラムを倒して コンプレッサの段積みOK	1連	20m	20SR-5S3 (01114)	レン太郎NRN型(左巻) 1台 架台(スイング式) 1台 補助ホース1,0m 1本	19 × 27.5	0 ～ 1.03	24	1
			30m	30SR-5S3 (01116)				28	1
		1連	20m	20SR-5S2 (01111)	レン太郎NRN型(右巻) 1台 架台(スイング式) 1台 補助ホース1,0m 1本			28	1
			30m	30SR-5S2 (01112)				32	1
	・着脱式はドラムをはずして コンプレッサの段積みOK ・ドラムは段積みで保管	2連	20m	20WR-5S2 (01113)	レン太郎NRN型(右巻) 1台 レン太郎NRN型(左巻) 1台 架台(スイング式) 2本 補助ホース1,0m 2本			52	2
			30m	30WR-5S2 (01115)				60	2
		2連	20m	20WR-5S4 (01150)	レン太郎NRN型(右巻) 1台 レン太郎NRN型(左巻) 1台 架台(スイング式) 2本 補助ホース1,0m 2本			48	3
			30m	30WR-5S4 (01151)	45°エルボ・ニップル 1個			56	3
着脱式	・スイング式はドラムを倒して コンプレッサの段積みOK	1連	20m	20SR-5F (01023)	レン太郎NRC型(右巻) 1台 架台(着脱式) 1台 補助ホース1,0m 1本	19 × 27.5	0 ～ 1.03	19	2
			30m	30SR-5F (01024)				24	2
		1連	50m	50SR-5F (01025)				32	2
			20m	20WR-5F (01026)	レン太郎NRC型(右巻) 1台 レン太郎NRC型(左巻) 1台 架台(着脱式) 2本 補助ホース1,0m 2本			38	3
	・別置式はコンプレッサと つないで使用 ・ドラムは段積みOK	2連	30m	30WR-5F (01027)				48	3
			50m	50WR-5F (01028)				64	3
		1連	20m	20SB-B (01041)	レン太郎NRC型(右巻) 1台 補助ホース2,5m 1本 Uフック 1個			16	2
			30m	30SB-B (01042)				21	2
	別置式	1連	50m	50SB-B (01043)				29	2

オプション

オートドレンセット PDS80～265(アフタクーラ仕様) アフタクーラのドレンを常時排出からオートドレンバルブによる適時排出へ変更することができます。 ※リークガード対象機種は除く。 ※ドレンタンクセットとの同時装着可能。	ドレンタンクセット PDS80～185(アフタクーラ仕様) 機外へ排出されるドレンを作業現場に排出できない場合は、排出されるドレンを溜めるためのタンクを装着することが可能です。 ※リークガード対象機種は除く。 ※オートドレンセットとの同時装着可能。
マルチトレーラ PDS80～185/400/PDSG290 ボックスタイプのコンプレッサを容易に移動できる専用トレーラです。 ※公道着引走行は出来ません。	給油口鍵付カバー PDS130/PDS185 燃料給油口部に鍵付きカバーを装着することで、燃料の盗難やタンク内への異物混入等を防止します。
火の粉避け PDS80～185 作業現場や使用環境の都合上、マフラーからの火の粉飛散防止装置です。	レインキャップ 全機種 屋外保管時や運転していない時にマフラ排気口からの雨水浸入を防ぎます。運転時は排気によりキャップ部が開き、停止時は排気口を閉じます。
キャスト PDS65～140 小型のボックスタイプのコンプレッサに装着可能なキャストです。	

機種選定のポイント エアツールを使用する時には空気量と圧力がポイントとなります。余裕ある選定をしましょう。

配管径と消費空気量 (m³/min) による圧力損失 (MPa) (ゴムホース100mにおける圧力損失の計算値:MPa)

呼び径	内径	消費空気量 (m ³ /min) <0.7MPa時>								
		1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
3/4B	20A	19mm	0.031	0.071	0.126	0.196	0.281	0.383	0.501	-
1B	25A	25mm	0.009	0.020	0.035	0.055	0.079	0.108	0.140	0.178
2B	50A	50mm	0.0001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.003	0.004	0.005

エアツール

空気工具の例	使用空気量 (m ³ /min)	一般適応機種 (空気量)			
		PDS80	PDS100	PDS130	PDS185
		2.3	2.8	3.7	5.2
チッピングハンマ	0.4～0.8	●	●	●	
ピックハンマ	0.7～1.0	●	●	●	
コンクリートブレイカ	1.0～1.5		●	●	●

関連法規

労働安全衛生法

ボイラーおよび圧力容器安全規則

第二種圧力容器に該当するセパレータ・タンク・アフタクーラ・ドライヤ等を搭載しているコンプレッサは、これらの圧力容器を定期的に自主検査する義務があります。

(ボイラーおよび圧力容器安全規則第88条)

第二種圧力容器とは

ゲージ圧力が0.2MPa(2kgf/cm²)以上の気体をその内部に保有する容器(第一種圧力容器を除く)のうち、次に掲げる条件のいずれかに該当する容器をいいます。

- 内容積が0.04m³以上の容器
- 胴の内径が200mm以上で、その長さが1,000mm以上の容器

①点検方法

年1回実施し、その記録を3年間保存しておかなければなりません。

●本体の損傷の有無

●ふたの締付けボルトの摩耗はないか

●管および弁の損傷の有無 (労働安全衛生法施行令第1条第7項より抜粋)

騒音規制法

この法律は、建設工事などにもとて発生する騒音について規制しています。

建設用「特定建設作業」における

エンジン駆動コンプレッサ定格出力15kW(20PS)以上の機種

【基準値】

騒音基準値	敷地境界線上で85dB (A) を超えないこと	
作業時間	1号区域	午後7時から午前7時までの間行われないこと
	2号区域	午後10時から午前6時までの間行われないこと
1日の作業時間	1号区域	1日10時間を超えて行われないこと
	2号区域	1日14時間を超えて行われないこと
同一場所における作業時間	連続して8日を超えて行われないこと	
作業日	日曜日その他の休日に行われないこと	

1号区域: 静穏を必要とする区域および学校、病院などの周囲およびおお80mの区域など

2号区域: 生活環境を保全すべき地域のうち1号区域以外の区域

安全について

危険

- 圧縮空気には、有機物質等が含まれており吸引すると死亡または重傷を負うおそれがありますので、圧縮空気を吸引用途に使用しないでください。
- 圧縮工法や潜水作業のような圧縮空気中作業室内を加工したり、井戸やトンネル内等に圧縮空気を加圧したり、井戸やトンネル内等に圧縮空気を送風することを考慮して設計していません。万一、故障した場合、空気の供給が止まり死亡または重傷を負うおそれがありますので、圧縮工法等には使用しないでください。

警告

- 取扱説明書および表示された各銘板をよく読み、理解し指示された内容を遵守してください。
- 勝手に改造しないでください。安全性を損なったり、機能や寿命低下の原因となります。
- 空気以外のガスの圧縮や真空ポンプなどの目的に使用しないでください。重大な事故の原因となります。
- 圧縮空気を人に向けて放出するなどの行為はしないでください。圧縮空気中の不純物や砂塵または異物の飛散などにより、皮膚や目など人体に重大な障害を与えるおそれがあります。
- 圧縮空気中には有機物質等が含まれていますので、食品などへの吹き付け用途には使用しないでください。
- 運転中は、回転部分やベルトに手を近づけないでください。万一、巻き込まれたときは、重傷を負うおそれがあります。
- 停止し吐出圧力計の示度が0MPaであっても必ずサービスマルプを開いて残圧がないことを確認してから作業を行ってください。万一、残圧があった場合は、高圧空気が噴き出し重傷を負うおそれがあります。
- エアフィルタなど、各機器に溜まったごみやほこりを圧縮空気中清掃する場合は、保護メガネ等を着用してください。

消防法

危険物及び少量危険物の範囲と適用法令

ディーゼルエンジンの燃料として石油類を使用(1日)又は貯蔵する場合、その量により危険物又は少量危険物となり、規制する法令が異なります。

危険物

使用量又は貯蔵する量が消防法で定める指定数量以上のもので、消防法の適用を受けず。

少量危険物

使用量又は貯蔵する量が消防法で定める指定数量の1/5以上、指定数量未満のもので、火災予防条例の適用を受けず。

①指定数量

種別	品名	主な種類	指定数量	少量危険物範囲
第4類	第2石油類	軽油・灯油	1,000L	200L以上1,000L未満
	第3石油類	重油	2,000L	400L以上2,000L未満

②申請(届出)

・危険物の場合は「危険物貯蔵所設置許可申請書」を作成して、所轄の消防署へ提出し許可を得た後、工事を着工し完成検査を受けた後に使用することになります。

(※設置する事業所内に危険物取扱の有資格者が必要となります。)

・少量危険物の場合は、「少量危険物貯蔵取扱所設置届出書」を作成し、設置する10日前までに所轄の消防署へ届出しなければなりません。

道路交通法

コンプレッサのけん引

タイヤ付のエンジンコンプレッサをトラック等でけん引し、公道を走行することは法律で禁止されています

第59条 1【自動車のけん引制限】

自動車の運転者は、けん引するための構造及び装置を有する自動車によってけん引されるための構造及び装置を有する車両をけん引する場合を除き、他の車両をけん引してはならない。ただし、故障その他の理由により自動車をけん引することが止むを得ない場合において、政令で定めるところにより当該自動車をけん引することは、その限りではない。

タイヤ付のコンプレッサは現場内の移動を主目的に製造されています。

平坦な場所においても20km/h以下で走行してください。

注意

- 冷却水を抜くときは、必ず停止して冷却水が十分冷えてから行ってください。冷えていないうちにドレンバルブを開くと、熱湯が吹き出しやけどをすることがあります。
- コンプレッサオイル・オイルセパレータエレメントの定期点検を確認に行ってください。点検を怠ると各部の過熱により火災のおそれがあります。
- 廃液は、有害物質を含んでいるので地面へのたれ流しや河川・湖沼・海洋への廃棄はしないでください。環境を汚染します。廃液を抜く場合は、必ず容器に受けてください。油・燃料・冷却水(不凍液)、フィルタ・バッテリーその他の有害物を捨てるときは、所定の規則に従ってください。

アフタクーラドレンについて

アフタクーラドレンには、微量の油分を含んでいますので所定の規則(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)に従って処理してください。